

改築に向けての測量に499万4000円を計上した。

このほか、子どもセンター等開設準備に向けた改修に551万2000円を盛込んだ。

は、レガシービジョンとしてとりまとめる。その上で「レガシーを、インフラや拠点の整備、防災都市づくりはもとより環境、文化の観点も加えながら今後の都市づくりに効果的に組み込み、都市の持続的な発展に結び付けるための検討を続けていく」方針。さらに「最終的には20年大会の10年後、20年後を見据えた東京全体の都市づくりのランドデザインとして明らかにしたい」と考え。

所信表明では、防災面の取組についても言及。「大規模自然災害等から都民の命を守り、日本の首都である東京が機能不全に陥ることがないよ

リハトレ専科が始動

健康寿命上げる地域拠点に

オンスHD

オンスホールディング

オンスホールディングは、元々スはきょう1日、東京・新宿区にリハトレ専科西戸山公園を開業する。要支援・要介護認定を受け高齢者に専用のリハビリトレーニングを提供する通い型のデイサービス施設。年をとっても生き生きと過ごせるよう健康寿命を引き上げる身近な医療拠点を目指す。

リハトレ専科は、元々医院だったビルの一階部分を改装した空間で、施設内はオレンジを基調とした明るい雰囲気になっている。主に下半身を鍛える運動器具を4台用意。通所者のデータは一元管理し、その日のメニューは前回からの延長線上で行える。運動の回数・強度や目標をわかりやすく

表示するモニターが各機に付いている。ゆっくりと負荷をかけるトレーニングを続けることで怪我を防ぎながらも、計画的に筋力を向上させる。同施設は会社を立ち上げた新井健太郎社長の「国をつくるため一生懸命働いてきた世代が年をとることに元気がなくなるのは寂しい」という想

トレーニンク中は運動量がモニター表示され調整できる



いから、創立当初より計画されてきた。「自由な時間を有意義に過ごせる身体をつくってあげた

い」と話し、元気な高齢者が増えれば子育て環境にも良い影響が出ると考えている。そのためにも「まずはリハトレ専科を3施設以上開きたい」と意欲を燃やす。

初弾の西戸山の責任者、笹木陽介課長代理も施設に通うことの意義をチラシやケアマネージャーを経由するなど多方面から周辺住民へ呼びかけているところだ。「元気になりたい人が来て、健康寿命を延ばしてほしい」と話す。

う、東京都国土強靱化地域計画の策定に着手していく」と述べた。加えて「土砂災害警戒区域等の指定に先立つ基礎調査を加速させる。従来の計画を2年前倒しし、17年度までに都内全地域の調査を完了させたい」と意向を示した。

都市の国際競争力強化については「国家戦略特

区の取組も具体的に進み始めている。特区の区域内では、まちづくりの機運が高い地域に道路管理の一部を担ってもらい、地域が自らの工夫で景観に配慮した道路など質の高い公共空間や、新しいにぎわいを生み出す方策を検討している」とした。

業実施も期待できると評価した。今後、15年2月に総合評価一般競争入札方式で公告、15年7月に落札者を決定する予定。

事業方式は、事業者が施設を設計・建設し、市に所有権を移転した後の施設の維持管理・運営までを行うBTO方式の採用を計画する。事業期間

る。事業用地は、川越市大字菅間字石橋18-1、敷地面積約1万3000平方メートル。

アドバイザー業務は、パシフィックコンサルタンツ、日比谷パーク法律事務所が担当。

受付

資機材は、鋼管矢板約2約3400平方メートル、浚渫工約6300平方メートルなどを行う。使用する主要な

名競争入札公告

社会福祉法人 奉優会

新築工事
3丁目319番1号
建築面積 238.0㎡
地上2階

一般競争入札公告

社会福祉法人 奉優会

1. 工事概要
工事件名：(仮称) 優つきり村西落合新築工事
建築主：社会福祉法人 奉優会
工事場所：東京都新宿区西落合2丁目550-1
建物概要：敷地面積 1838㎡ 建築面積 1030㎡
延床面積 1544.05㎡
重量鉄骨造 地上2階